

公 示 日：2025 年 6 月 25 日（水）

調達管理番号：25a00305

国 名：タンザニア

担 当 部 署：経済開発部農業農村開発第二グループ第四チーム

調 達 件 名：タンザニア国コメ振興能力強化プロジェクト（ジェンダー）

適用される契約約款：

・「事業実施・支援業務用」契約約款を適用します。これに伴い、契約で規定される業務（役務）が国外で提供される契約、すなわち国外取引として整理し、消費税不課税取引としますので、最終見積書において、消費税は加算せずに積算してください。（全費目不課税）

1. 担当業務、格付等

- （１） 担当業務 ：ジェンダー
- （２） 格 付 ：３号
- （３） 業務の種類：専門家業務

2. 契約予定期間等

- （１） 全体期間：2025 年 8 月上旬から 2025 年 9 月中旬
- （２） 業務人月：1.2 人月
- （３） 業務日数：準備業務 6 日、現地業務 21 日、整理業務 4 日

3. 簡易プロポーザル等提出部数、期限、方法

- （１） 簡易プロポーザル提出部数：1 部
- （２） 見 積 書 提 出 部 数：1 部
- （３） 提 出 期 限：2025 年 7 月 9 日（水）（12 時まで）
- （４） 提 出 方 法：国際キャリア総合情報サイト PARTNER を通じて行います。（<https://partner.jica.go.jp/>）

具体的な提出方法は、JICA ウェブサイト「コンサルタント等契約の応募者向け 国際キャリア総合情報サイト PARTNER 操作マニュアル」をご参照ください。

（https://partner.jica.go.jp/Contents/pdf/JICAPARTNER_%E6%93%8D%E4%BD%9C%E3%83%9E%E3%83%8B%E3%83%A5%E3%82%A2%E3%83%AB_%E6%A5%AD%E5%8B%99%E5%AE%9F%E6%96%BD%E5%A5%91%E7%B4%84.pdf）

- ◇ 提出方法等の詳細については JICA ホームページ内の以下をご覧ください。
「コンサルタント等契約におけるプロポーザル作成ガイドライン」2025 年 3 月版「別添資料 11 業務実施契約（単独型）公示にかかる競争手続き」
<https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/20220330.html>

なお、個人の資格で競争に参加する場合、簡易プロポーザル提出 5 営業日前までに所定の競争参加資格審査申請書の提出が必要です。

- ◇ 評価結果の通知：2025 年 7 月 18 日（金）までに個別通知
提出されたプロポーザルを JICA で評価・選考の上、契約交渉順位を決定します。
- ◇ 評価結果説明の取り止め：2023 年 6 月 30 日のお知らせに掲載
（<https://www.jica.go.jp/about/announce/information/consultant/2023/20230630.html>）のとおり、2023 年 7 月以降の単独型公示については評価結果の説明を取り止めます。

4. 簡易プロポーザル評価項目及び配点

（１） 業務の実施方針等：

- | | |
|------------------|------|
| ① 業務実施の基本方針 | 16 点 |
| ② 業務実施上のバックアップ体制 | 4 点 |

（２） 業務従事者の経験能力等：

- | | |
|----------------|------|
| ① 類似業務の経験 | 40 点 |
| ② 対象国・地域での業務経験 | 8 点 |
| ③ 語学力 | 16 点 |
| ④ その他学位、資格等 | 16 点 |

（計 100 点）

類似業務経験の分野	ジェンダーの研修に係る各種業務
対象国及び類似地域	東アフリカ及び全途上国
語学の種類	英語

5. 条件等

- (1) 参加資格のない社等：コメ振興能力強化プロジェクト（TANRICE3）に派遣中の長期専門家。なお、所属先については、参加の制限はありません。
- (2) 必要予防接種：黄熱に感染する危険のある国の空港に 12 時間以上滞在した場合、黄熱予防接種証明書が要求されます。

6. 業務の背景

JICA はタンザニアにおける農業分野への支援として、1970 年代からキリマンジャロ州における灌漑稲作への技術協力を実施しており、これまでに灌漑地区を中心に延べ 4.4 万人の農家を支援してきた。2012 年～2019 年に実施した前フェーズ「コメ振興支援計画プロジェクト」終了時点における対象灌漑地区農家の生産性は 3.2t/ha から 4.5t/ha へと向上した一方、タンザニアにおける灌漑施設の整備率は依然として低く、コメ生産面積の大半を占める天水地域の生産性は天水低湿地で 2t/ha、天水畑地で 1t/ha 前後に留まる。こうした状況から、灌漑・天水稲作双方のコメ生産技術を全国に普及し生産量を増加させることを目標として、2023 年 6 月にコメ振興能力強化プロジェクト（TANRICE3／以下、本プロジェクト）が開始された。本プロジェクトでは、農業省(Ministry of Agriculture: MoA) 研修局とザンジバル農業灌漑天然資源畜産省(Ministry of Agriculture, Irrigation, Natural Resources and Livestock : MAINL)をカウンターパート機関、ザンジバル大学農学部 (School of Agriculture: SoA) を含む MoA 研修研究局の 7 研修所を実施機関としている。

現在、本プロジェクトでは「灌漑稲作研修」に加え、特定の灌漑地区に対しては更なる収量・収益の安定化を実現するため、灌漑地区組織運営、ジェンダー、マーケティング、農業機械などの分野で「特定課題研修」を実施している¹。各特定課題研修はキリマンジャロ農業技術者訓練センター計画フェーズ 2（2001-2006）で開発され、前フェーズにて研修パッケージを改定した際、研修効果に結びつきやすい内容（稲作技術、灌漑水管理、農民間普及）は灌漑稲作研修に組み込まれ、研修効果の発現に時間を要する内容（灌漑地区組織運営、ジェンダー²、マーケティング）については、特定課題研修においてより重点的に取り組むように整理された。

¹ 先行フェーズまでは「課題別研修」と呼称していたが、本邦および第三国で実施される同名の研修と区別するため 2025 年に改称。先行案件までに灌漑稲作研修を実施した灌漑地区の主要関係者（県灌漑担当官・灌漑地区マネージャー・国家灌漑庁職員・灌漑地区農民代表）等を対象に研修を実施している。

² 農家研修により、①家庭内労働・農作業とも女性に偏っている状況、②女性の資源アクセス（資金・時間・機会など）が限定されている状況を認識・改善することで、家庭・コミュニティ内の関係を円滑にし、農業生産性が向上することを意図している。

ジェンダー特定課題研修（以下、ジェンダー研修）においては当初、ジェンダー分析、家計管理、改良かまどが主な内容であったが、2014 年の改訂で改良かまどが削除されるとともに、HIV/AIDS や衛生といった内容が追加され、現在の研修パッケージの原型となった。その後 2021-2023 年にかけて実施された「コメ振興及び普及・研修システム強化に向けた 情報収集・確認調査（TANRICE2.5）」では、栄養・調理と Gender-based Violence に関する内容が追加されており、現在では計 5 日間（①現状調査、②ジェンダー啓発、③家計簿、④HIV/AIDS・GBV、⑤衛生・栄養）の研修を実施している。

これまで各フェーズでジェンダーに関する運営指導及び短期専門家派遣が実施され、ジェンダータスクグループ（GTG³）年次会合開催、ジェンダー研修に関する GTG メンバーへの ToT⁴、研修教材（含む視聴覚教材）開発への支援、およびジェンダー視点に立ったプロジェクト形成・モニタリング・評価手法に関する能力強化研修等々の協力が行われてきた。直近では本プロジェクトにおけるジェンダー分野の活動方針検討と、専門的な視点から指標・評価方法の策定を支援するため、2025 年 2 月にジェンダー運営指導調査を派遣し、GTG メンバーのファシリテーション力強化と評価指標の見直し、および今後想定される活動の整理が行われている。

本プロジェクトでは運営指導調査に先行して、現状を把握するため 2024 年 2-4 月にかけて各研修所で 1 ヶ所ずつジェンダー研修を実施した。その結果、TANRICE2.5 における研修パッケージ改定時に ToT が 1 回行われたものの、全体のマネジメントが追いついておらず、その後各研修所が担当する地域でのジェンダー研修は実施されていない現状が明らかになった。現時点でジェンダー研修のモニタリングは、記名式の質問票を用いて農家個人の変化を追う形が想定されているが、プロジェクト終了後の持続性⁵を念頭に、現場の県職員や普及員が対応できる灌漑地区単位での評価について再度検討する必要がある。さらに、2025 年以降は ToT の 1 ヶ所を除き、6 回の研修を先方政府予算で実施することとなり、研修費削減のため日数の短縮についても検討する必要性が出てきているため、研修の見直しが求められている。

³ 実施機関である 7 研修所から各分野に約 1～2 名の教官がカウンターパート (C/P) として配置されており、各分野の C/P 群は「タスクグループ (TG) メンバー」と呼ばれる。

⁴ ワークショップを通じた、GTG メンバーの能力強化及び講師向けの研修を想定している。

⁵ TANRICE3 の成果には稲作研修の持続性の向上が含まれており、研修後に実施するモニタリングにおいても関係機関が継続していくために現場職員向け（県職員、普及員）のアプリ開発（2024 年 11 月に試験運用開始）を進めている。現段階ではアプリを活用したモニタリングは灌漑稲作研修の関連事項に限られているものの、将来的には特定課題研修についてもアプリの活用を目指している。プロジェクト終了後も現場でモニタリング活動を行うのは各県に属する普及員であり、農家個人の変化を追う詳細なデータ収集は困難であると想定される。

7. 業務の内容

本専門家の派遣目的は、ジェンダー研修の課題や問題点を明らかにし、日程短縮に向けた研修パッケージ改訂および GTG メンバー向けにジェンダー研修 ToT を実施するとともに、灌漑地区単位のモニタリング・評価方法検討を支援することである。

具体的な担当事項は次のとおり。

・準備業務（2025 年 8 月上旬）

- 1) 既存の JICA 報告書⁶、その他の関連報告書、学術論文等を参照し、TANRICE3 におけるジェンダー研修の現状と課題、および合同モニタリングの結果について把握する。
- 2) プロジェクトが 26 灌漑地区を対象に実施した合同モニタリング結果（家庭内労働の分担・意思決定への関与状況等の項目を含む）を基に今まで実施されたジェンダー研修を評価及び分析する。
- 3) プロジェクト、JICA タンザニア事務所および JICA 経済開発部と連絡・調整の上、現地における業務内容を整理する。
- 4) ワークプラン（英文）を作成し JICA タンザニア事務所および JICA 経済開発部へ提出・説明する。

・現地業務（2025 年 8 月上旬～2025 年 9 月上旬）

- 1) 現地業務開始時に、JICA タンザニア事務所、C/P 機関にワークプランを提出し、業務計画の説明を行う。
- 2) プロジェクト長期派遣専門家および TG メンバーと共に、派遣期間中の活動について打ち合わせを行い、TG 会議およびジェンダー研修の ToT（灌漑稲作研修の実施済地区 1 ヶ所）の実施準備を進める。
- 3) ジェンダー研修 ToT 前に TG 会議を開催する。TG メンバーと研修パッケージ（研修コンポーネント・ガイドライン・教材等）を見直し、改訂版研修案を作成する。
- 4) ToT として、プロジェクトが選定した地区の農家や灌漑地区および村の代表者を対象に、TG 会議にて改訂された研修パッケージを試行的に実施し、実施方法について TG メンバーに指導する。1 地区あたり最大 50 名程度を対象とし、3-4 日間を想定している。
- 5) ToT 後に再度 TG 会議を開催し、灌漑地区単位でのモニタリングの評価方

⁶配布資料である、先行フェーズ(コメ振興支援計画プロジェクト)及び現行フェーズ(コメ振興能力強化プロジェクト)の短期専門家(ジェンダー)業務完了報告書、コメ振興支援計画プロジェクトの事業完了報告書を参照する。

法や分析方法を検討・指導するとともに、必要に応じて改訂版研修内容の修正を行う。

- 6) 現地業務結果報告書（英文）を作成し、プロジェクト関係者及び JICA タンザニア事務所に提出・報告する。

・整理業務（2025 年 9 月上旬～2025 年 9 月中旬）

- 1) 活動結果を取りまとめた専門家業務完了報告書（和文）を作成し、JICA 経済開発部に報告・提出する。

8. 報告書等

業務の実施過程で作成、提出する報告書等は以下のとおり。なお、報告書を作成する際には、「コンサルタント等契約における報告書の印刷・電子媒体に関するガイドライン」を参照願います。

(1) ワークプラン（英文）

現地業務期間中に実施する業務内容を関係者と共有するために作成する。業務の具体的内容（案）などを記載する。

電子データ（JICA 経済開発部、JICA タンザニア事務所）

(2) 現地業務結果報告書（英文）

現地派遣期間中に実施した業務内容を関係者に報告するために提出する。担当業務における残された課題と今後必要な取り組みを含めること。

電子データ（JICA 経済開発部、JICA タンザニア事務所、C/P 機関）

(3) 専門家業務完了報告書（和文）

2025 年 9 月 12 日（金）までに提出。

現地派遣／国内業務期間中の業務報告書（和文）を提出し、報告する。

電子データ（JICA 経済開発部、JICA タンザニア事務所）

9. 見積書作成に係る留意点

本公示の積算を行うにあたっては、「コンサルタント等契約における経理処理ガイドライン」2023 年 10 月（2025 年 3 月追記版）の「XI. 業務実施契約（単独型）」及び「別添資料 2 報酬単価表」を参照願います。

<https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/quotation.html>

留意点は以下のとおりです。

(1) 航空賃及び日当・宿泊料等

航空賃及び日当・宿泊料等は契約に含みます（見積書に計上して下さい）。

効率的かつ経済的な経路、航空会社を選択いただき、払戻不可・日程変更不可等の条件が厳しい正規割引運賃を含め最も経済的と考えられる航空賃を見積もってください。

10. 特記事項

(1) 業務日程／執務環境

① 現地業務日程

現地業務日程は 2025 年 8 月 上旬～9 月上旬を予定しています。

本業務に係る現地プロジェクトチームの構成は、以下のとおりです。

- (ア) チーフアドバイザー（長期派遣専門家）
- (イ) 稲作技術／種子生産（長期派遣専門家）
- (ウ) 副総括／研修管理（長期派遣専門家）
- (エ) 業務調整／モニタリング（長期派遣専門家）
- (オ) ジェンダー（本コンサルタント）

② 便宜供与内容

- (ア) 空港送迎：あり
- (イ) 宿舍手配：あり
- (ウ) 車両借上げ：必要な移動に係る車両の提供
- (エ) 通訳傭上：なし
- (オ) 現地日程のアレンジ：プロジェクト専門家が必要に応じアレンジ
- (カ) 執務スペースの提供：プロジェクト事務所における執務スペース提供（ネット環境あり）

(2) 参考資料

- ① 本業務に関する以下の資料を JICA 経済開発部農業・農村開発第二グループ第 4 チームから配付しますので、edga2@jica.go.jp 宛にご連絡ください。

【コメ振興支援計画プロジェクト】

- ・短期専門家（ジェンダー）業務完了報告書（2013 年度）

- ・ 短期専門家（ジェンダー）業務完了報告書（2014 年度）
- ・ 短期専門家（ジェンダー）業務完了報告書（2015 年度）
- ・ 短期専門家（ジェンダー）業務完了報告書（2016 年度）
- ・ 短期専門家（ジェンダー）業務完了報告書（2017 年度）

【コメ振興能力強化プロジェクト】

- ・ ジェンダー運営指導調査報告書（2024 年度）

② 本業務に関する以下の資料が JICA 図書館のウェブサイトで公開されています。

- ・ タンザニア国コメ振興能力強化プロジェクト詳細計画策定調査報告書（第 2 回）

タンザニア国 コメ振興能力強化プロジェクト詳細計画策定調査(2回目)報告書
[電子資料]. -

（３）その他

① 業務実施契約（単独型）については、単独（１名）の業務従事者の提案を求めている制度ですので、複数の業務従事者によるプロポーザルは無効とさせていただきます。

② 現地業務期間中は安全管理に十分留意してください。現地の治安状況については、JICA タンザニア事務所などにおいて十分な情報収集を行うとともに、現地業務の安全確保のための関係諸機関に対する協力依頼及び調整作業を十分に行うこととします。また、同事務所と常時連絡が取れる体制とし、特に地方にて活動を行う場合は、現地の治安状況、移動手段等について同事務所と緊密に連絡を取る様に留意することとします。また現地業務中における安全管理体制をプロポーザルに記載してください。また、契約締結後は海外渡航管理システムに渡航予定情報の入力をお願いします。詳細はこちらを参照ください。

<https://www.jica.go.jp/about/announce/information/common/2023/20240308.html>

③ 本業務の実施にあたっては、「JICA 不正腐敗防止ガイダンス」（<http://www2.jica.go.jp/ja/odainfo/pdf/guidance.pdf>）の趣旨を念頭に業務を行うこととします。なお、疑義事項が生じた場合は、不正腐敗情報相

談窓口または JICA 担当者に速やかに相談してください。

- ④ 発注者、受注者との間で業務仕様書に記載された業務内容や経費負担の範囲等について理解の相違があり発注者と受注者との協議では結論を得ることができない場合、発注者か受注者のいずれか一方、もしくは両者から、定められた方法により「相談窓口」に事態を通知し、助言を求めることができます。
- ⑤ 本業務については先方政府側の対応次第で、渡航時期及び業務内容が変更となる場合も考えられるため、具体的な渡航開始時期等に関しては JICA と協議の上決定します。
- ⑥ 公示内容の更なる質の向上を目的として、競争参加いただいたコンサルタントの皆様からフィードバックをいただきたいと思います。つきましては、お手数ですが、ご意見、コメント等をいただけますと幸いです。具体的には、選定結果通知時に、入力用 Forms をご連絡させていただきますので、そちらへの入力をお願いします。

以上